

瀬戸市総合交通戦略（案）パブリックコメント手続き 実施結果

1 意見募集期間 令和3年4月5日（月）から4月26日（月）まで

2 意見提出人数 2人

3 意見件数 12件

4 意見への対応

A 意見を踏まえて、案の修正をするもの	1件
B 意見の趣旨や内容を盛り込み済みであり、考え方を説明するもの	3件
C 今後の事業検討時の参考とするもの	2件
D 要望及び質問に対して回答するもの	6件

5 意見の内訳

内容	件数
高齢者等交通弱者に関するもの	1件
都市及び交通計画の方針等に関するもの	2件
公共交通に関するもの（コミュニティバス）	3件
都市計画道路に関するもの	2件
その他	4件

（参考）計画書の分野別内訳

分野	件数
第2章上位計画の整理	1件
第3章交通政策を実施する上での課題	3件
第4章方針及び施策	4件
その他	4件

6 意見概要及び市の考え

No	分野	項目	意見概要	市の考え方	対応
1	第2章 上位計画 の整理	第6次瀬 戸市総合 計画	「都市像」が3項目整理されていますが、高齢者、中学生以下の子供に対する記述が少ないと思います。検討時に福祉関係の諸制度も議題になりませんでしたか。	本市では第6次瀬戸市総合計画で掲げた都市像を基に様々な施策を行っており、それを踏まえて本計画も作成しています。 特に高齢者について、P32（1-1 バスの運行維持・見直	B

				し)では、生活交通であるコミュニティバスの運行維持・見直しを行うほか、P37 (1-2 多様な交通手段の確保・検討)では、人口減少・少子高齢化を考慮した多様な交通手段の研究、P40 (1-3 多様な主体・ツールによる公共交通の利用促進)では、アクティブシニア等を対象としたフリーパスなど新たな料金体系の導入検討を行うこととしています。	
2	第3章 交通政策 を実施する 上での 課題	これまでの 交通施策の 検証からの 課題	「1-1 公共交通軸の形成」で平成26年3月に見直したとありますが、2年の延長で何かそれ以外に見直したことはありますか。	平成26年3月に見直しを行った「瀬戸市地域公共交通総合連携計画」(以下「連携計画」という)は、平成21年度から同25年度を計画期間として策定しましたが、コミュニティバスの路線見直し検討等に当たり、平成28年度までの計画期間延長を行いました。 連携計画の見直しの際には、それまでの事業進捗を踏まえ、市内基幹バス路線の事業実施概要等について一部内容を改訂し、見直し後は計画に沿って市内基幹バス便数などのサービス水準変更や沿線協議会の設立・協議実施等を行いました。	D
3	第3章 交通政策 を実施する 上での 課題	これまでの 交通施策の 検証からの 課題	「割引制度などの導入検討」とありますが、障害者の方のコミュニティバス運賃が運行から15年経っても普通運賃の半額に据え置かれています。 周辺では「65歳以上無料」や「中学生以下無料」の市町も	本市のコミュニティバスは障害者の方からも受益者負担として運賃を頂戴しています。いただいたご意見は、関係部署と共有させていただきます。	D

			ありますし、尾張旭市では付き添いの方も無料となっています。		
4	第3章 交通政策 を実施する 上での課題	これまでの 交通施策の 検証からの 課題	<p>(都)陣屋線の整備は(都)鹿乗共栄線の渋滞緩和を目的に(都)追分線整備とともに内環状機能を果たす役割で始まったと認識しています。</p> <p>(都)陣屋線の事業開始から名古屋鉄道など関係者協議もされたと思いますが、(都)追分線の協議が進まない要因は何かあるのでしょうか。</p>	(都)追分線は、P46 (2-2 都市計画道路網の見直し) 記載のとおり、実現可能な構造形式等の調整が、鉄道事業者や関係機関と必要となっています。鉄道事業者や関係機関とは、P46 (2-2 都市計画道路の見直し) 記載の通り、今後も調整を図り、見直しを推進して参ります。	B
5	第4章 方針及び 施策	視点別の 交通施策 の方針	小学生が交通事故に巻き込まれて悲惨な状況が起きています。こうしたことの視点で検討や方針が少ないように感じます。	通学路の安全確保について、P54 (1-1 外環状道路の整備●品野町 6 丁目交差点改良) や P57 (2-1 近隣市との連携を強化する道路整備●(都)塩塚線の整備) では、歩道を整備することとしていますが、P28,29 (4-2 視点別の交通施策の方針) 視点 1 (方針) と 視点 2 (方針) を安全対策に関する視点も含めた内容に修正させていただきました。	A
6	第4章 方針及び 施策	視点別の 施策	ぜひ鉄道と道路の交差する箇所での線路高架化を進めていただきたい。	名鉄瀬戸線と交差する都市計画道路の 3 路線については、P46 (2-2 都市計画道路の見直し) 記載のとおり、鉄道事業者や関係機関と実現可能な構造形式等について調整を図り、見直しを推進して参ります。	B
7	第4章 方針及び 施策	視点別の 施策	「コミュニティバスの運行維持・見直し」で「新たなコミュニティバス運行協議会の設立など、地域の意向を把握する体制について検討します。」とありますが、現行の 8 路線	現在運行しているコミュニティバス路線のうち、本地線と上之山線には運行協議会がありませんので、地域の意向を把握する体制について検討を進めて参ります。	D

			の拡充のことでしょうか。その他地域の把握を想定しているのなら中学校単位で利用者、地域住民の懇談会を実施してください。		
8	第4章 方針及び 施策	視点別の 施策	自転車専用通行帯を新瀬戸駅・瀬戸市駅から市民公園まで設置の検討をしてください。また、一部の自治体で実施している貸自転車の設置を市民公園から駅までなどをお願いします。	いただいたご意見は、今後の事業検討時の参考とさせていただきます。	C
9	その他	—	<p>周辺市町の多くは、啓発の一部としてコミュニティバス（市営バス）の年間利用状況や利用者要望への取り組み状況を記載した冊子を作成しています。</p> <p>瀬戸市がこれまで作成しなかった理由を教えてください。また、今後の作成予定はあるのでしょうか。</p>	本市は、市内基幹バスやコミュニティバスの運行内容や運行経費、利用者数などを記載した事業報告書を毎年作成しています。本市のホームページにて公開していますので、お手数おかけしますが、そちらからご確認ください。	D
10	その他	—	車道を自転車で走行したいが道幅が狭い上、ダンプカーが側を走るため怖くて歩道を自転車で走行してしまう。また、所々歩道と車道の繋がが悪く段差が大きい。	いただいたご意見は、今後の事業検討時の参考とさせていただきます。	C
11	その他	—	新郷町の交差点等右折信号がなく、右折信号のない交差点には右折信号をつけていただきたい。	いただいたご意見は、交通管理者である愛知県警察及び道路管理者である愛知県に提供して参ります。	D
12	その他	—	国道植樹帯の幅を縮小またはカットすれば、4メートルの専用歩道が確保できると思います。	いただいたご意見は、道路管理者である国道事務所等に提供して参ります。	D